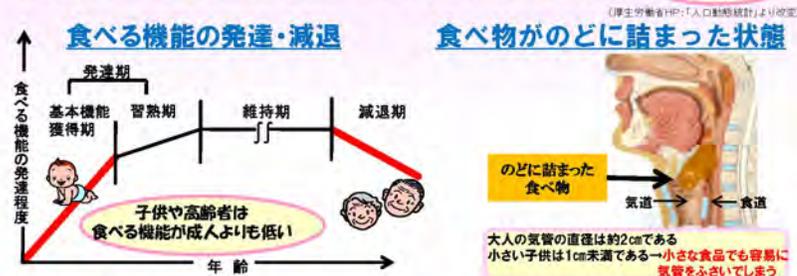


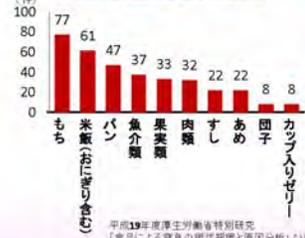
# 窒息には、摂食嚥下機能、食べ方、情緒、認知機能、食物物性など様々な要因がある

## 食品による窒息事故に気を付けよう！

・食品による窒息で死亡する人は年間**4000人**以上です！  
 ・1日に約**11人**が食品による窒息で命を落としています！  
 知っていますか？



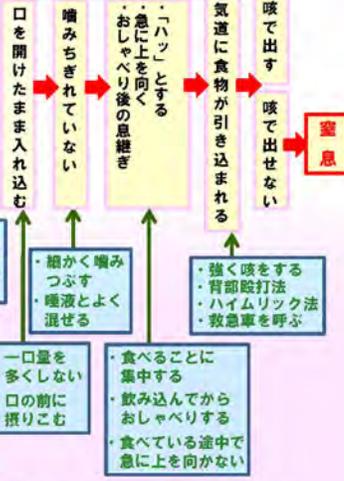
### 窒息の原因食品



### Point

- 一口の量は無理なく食べられる量にしましょう。
- 食べ物を一口入れたら、いつもより5回多く噛むようにしましょう。目標は一口30回噛む事です。
- しっかり噛んで唾液とよく混ぜ合わせてから飲み込みましょう。
- よく噛んで食べる事は肥満の解消・予防にもなります。
- 歯のない方は入れ歯をいれてしっかり噛みましょう。
- 離乳期の乳幼児は口の中の状態や機能に合った食べ物を与えましょう。

### 窒息しやすい食べ方



しっかり噛んで食べることは、今すぐできる『窒息予防』

(社)日本歯科医師会

## 窒息時の対処法

### 乳児

手順	背部叩打法(はいぶこうだほう)・・・図1
1	救助者の片腕の上に乳児をうつぶせに乗せ、手のひらで乳児の顔を支えながら、頭部が低くなるような姿勢にして突き出す。
2	もう一方の手の付け根で、背中の真ん中を異物が取れるか反応がなくなるまで強くたたく。



図1

**注意点**  
 乳児に対しては、腹部突き上げ法(ハイムリック法)を行わない。  
 反応がなくなった場合は、乳児に対する心肺蘇生法を開始する。

### 小児・成人

手順	腹部突き上げ法(ハイムリック法)・・・図2
1	腕を後ろから抱えるように回す。
2	片手で握りこぶしを作り、その親指側を傷病者のへそより上でみぞおちの十分下方に当てる。
3	その上をもう一方の手で握り、すばやく手前上方に向かって圧迫するように突き上げる。



図2

手順	背部叩打法(はいぶこうだほう)・・・図3
1	ひざまずいて、傷病者を自分の方に向けて側臥位(そくがいに)にする。
2	手の付け根で肩胛骨(けんこうこつ)の間を力強く何度も連続してたたく。



図3

**注意点**  
 妊婦(明らかに下腹が大きい場合)や乳児に対しては、腹部突き上げ法は行わない。背部叩打法のみを行う。  
 横になっている。あるいは座っている傷病者が自力で立ち上がれない場合は、背部叩打法を行う。  
 腹部突き上げ法と背部叩打法の両方が実施可能な状況で、どちらか一方を行っても効果のない場合は、もう一方を試みる。

(福岡市消防局HP:「いざという時の応急手当」より一部改変)

窒息者を発見したらまず119番と異物除去！AEDは心肺停止の時です！

(社)日本歯科医師会

# 食べる機能の基本が発達する 小児期

歯と口腔の動き

～その口で何を食べられるのか？～

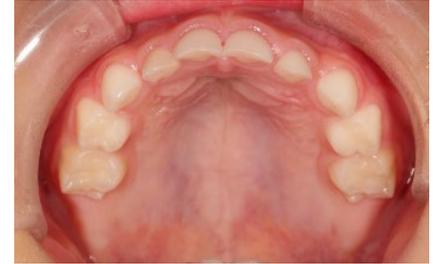
# 摂食機能の発達と歯の萌出 口の動きと歯の生え方をみて、何が食べられるのか判断することが 大切



哺乳期；  
歯はない



- 1歳ころ；
- ・ 前歯がかみ合う
  - ・ その前歯を使ってかじり取りをするが、最初はうまくできない
  - ・ すりつぶしの（噛む）動きはできているが奥歯のところは歯ぐきだけなので、「歯でのそしゃく」はできない



離乳初期・中期・後期



- 7カ月ころ；
- ・ 下の前の乳歯が生え始める
  - ・ 離乳食は中期くらい



- 1歳半ころ；
- ・ 離乳完了食～幼児食を食べているが、まだ奥歯のかみ合わせはないことも（あっても1か所くらい）
  - ・ スプーンを使って食べるが増える

- 3歳ころ；
- ・ 乳歯が20本生えそろう
  - ・ 大人と同じくらいの食べを自分で食べられるようになるが、「弾力のあるもの」「繊維質のもの」「硬いもの」は食べにくい
  - ・ また自分で上手に食べられないことも多い

成長

# 食べる困難のあるひとたち

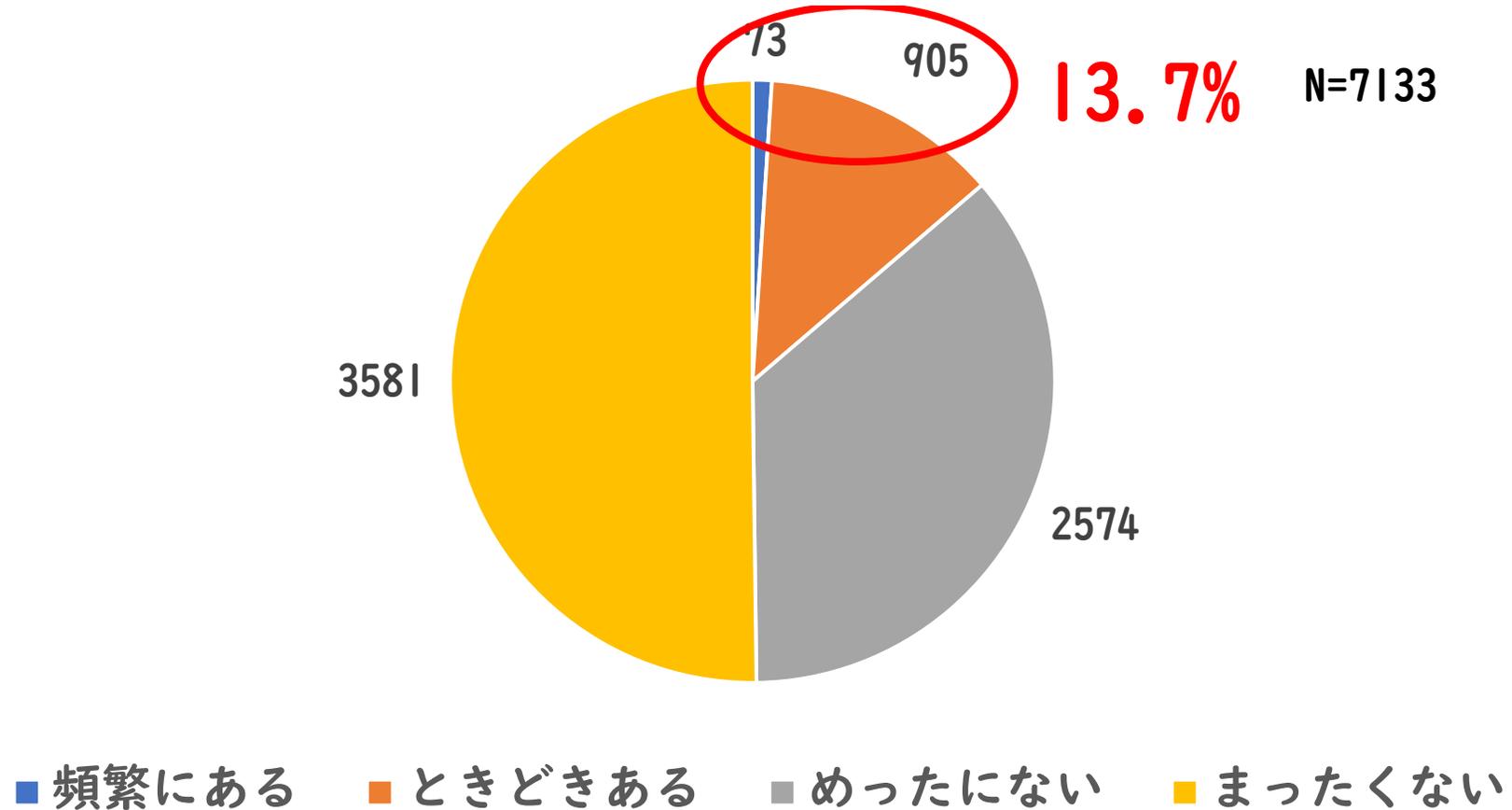
摂食嚥下障害

摂食機能の発達遅延 早産・低出生体重児

発達障害特性の影響

# 国民健康・栄養調査 2013年データ

あなたは食べ物や飲み物が飲み込みにくく感じたり、  
食事中におせたりすることがありますか



# 摂食嚥下障害患者数（推計）

（平成17年度要介護高齢者に対する 摂食  
嚥下障害対策 実態調査報告書：北海道）

## 全国推計

**782,410人（成人のみ）**

（2006年3月、要介護（要支援）認定者数 4,322,708人）

# 摂食嚥下障害は高齢者だけではない

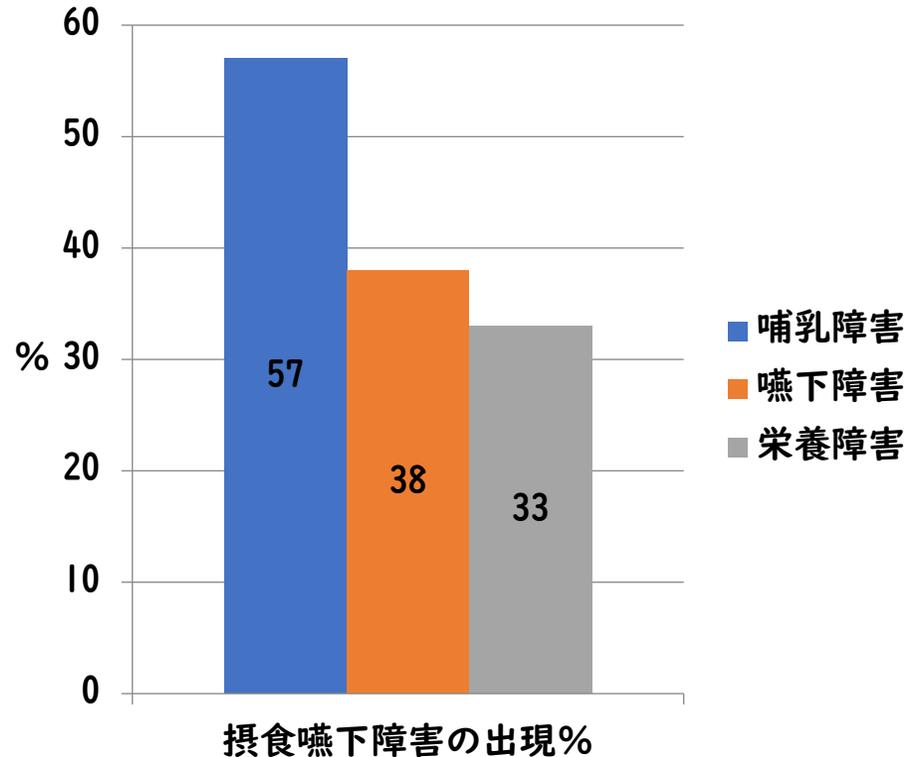
- 令和5年版障害者白書では、在宅の身体障害者（脳性麻痺も含まれる）のうち、18歳未満は68,000人（1.6%）
- 多くの子ども達にも摂食嚥下障害の問題がある
  - 重症心身障害児者
  - 医療的ケア児者.....



[https://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/r05hakusho/zenbun/siryu\\_01.html](https://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/r05hakusho/zenbun/siryu_01.html)

# 小児の摂食嚥下障害の原因で多い疾患 脳性麻痺

脳性麻痺児における生後1年間の  
摂食嚥下障害の出現率



- 脳性麻痺児の85～90%は嚥下障害の既往がある (Arvedson, 2002)
- 生後1年間に哺乳障害が57%、嚥下障害が38%、栄養障害が33%認められた (Reilly, 1996)

感覚の過敏や鈍麻などにより  
食の困難を抱えやすい

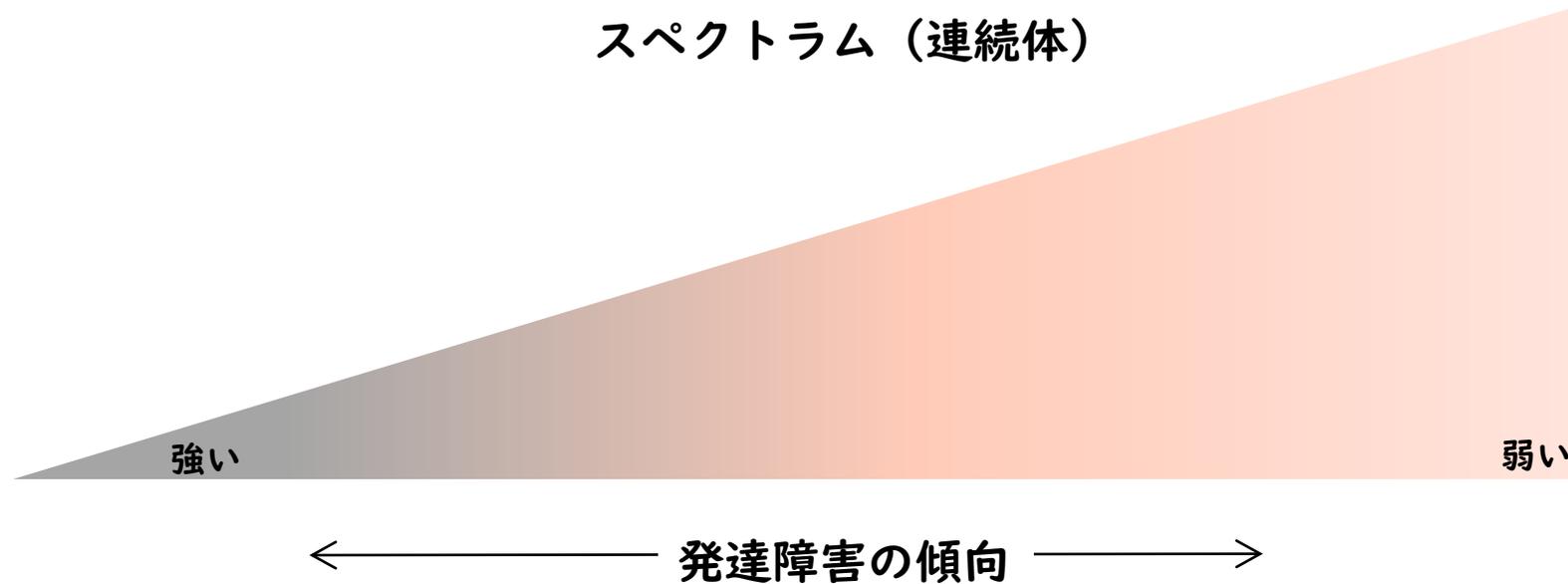
発達障害の特性

# 発達障害の診断がついていない子ども（大人も）たちが少なからず存在する

- 発達障害の診断は、知的能力障害が少なく発達特性が薄いほど事例化・顕在化は遅くなる。
- 知的能力障害のない発達障害については学童期に入り集団生活や学業で問題を生じてから初めて相談・受診につながるケースも多い。

金生由紀子，渡辺慶一郎，土橋圭子編著．自閉スペクトラム症の医療・療育・教育．新版，33株式会社  
金 芳堂；2016． 33

# どこからが発達障害か、という境界はない 全てはスペクトラム（連続体）



# 発達障害傾向のある子どもにみられる食行動

- 視覚の特異性
- 触感の特異性
- いろいろな食べ物の制限
- 食べることを拒否する（拒食）
- 食べ物をものすごく欲しがる。
- 新しい食べ物に挑戦しない。
- 甘い食べ物だけを好むorしょっぱい食べ物だけを好む。
- 噛み応えのある食べ物を好むor奥歯が過敏で噛めない。
- 特定（独特）の方法で調理された食べ物を好む。
- 特定（独特）の方法で食べさせてもらうことを好む。

# 発達障害の本人・当事者の困難感 ～口腔機能等に関すること～

- ・ 顎をうまく動かせない。
- ・ 飲み込み方がわからない。
- ・ 箸の使い方が下手である。
- ・ 疲れている時は舌を嚙んだり誤嚥しやすい。
- ・ 大人数の食事は音やにおいなどの情報が溢れて辛い。
- ・ 人の輪の中でどのようにふるまえばいいかわからないため会話はおそろしい。



さまざまな  
食の困難、  
辛さを抱え  
ている

など

田部絢子、高橋智：発達障害等の子どもの食の困難と発達支援，風間書房，2015年11月

# 日本歯科医学会連合では食の困難のある人を理解するための フォーラムを開催しました

一般社団法人 日本歯科医学会連合主催 商標登録展開ワーキンググループ 2024 年度フォーラム

## 子どものお口の発達と 歯科医療を多方面から考える

令和 7 (2025) 年

2月1日(土)~2月28日(金)

オンデマンド配信

誰でも  
視聴できるよ!  
ぜひ申し込めてね!



妹の  
ハミルです!



講 演

(座長) 商標登録展開ワーキンググループ委員  
木本茂成

1.発達障害等の発達特性を有する  
子どもの食の困難と発達支援 (45分)  
田部絢子  
金沢大学人間社会研究域学校教育系 准教授

2.摂食障害や偏食の子どもたちが  
楽しく食べるために (45分)  
藤井葉子  
医療法人社団湧泉会 ひまわり歯科 管理栄養士

3.子どもの摂食障害  
(食べたいのに食べられない子への対応) (45分)  
作田亮一  
獨協医科大学埼玉医療センター 子どものこころ診療センター長

開催日時:2025年2月1日(土)~2月28日(金) 開催方法:オンデマンド配信

登録方法:ウェブ申込み(登録締め切り 2025年2月20日17:00まで)

[https://www.jdaform.jp/form\\_nsigr\\_forum\\_onde/](https://www.jdaform.jp/form_nsigr_forum_onde/)  
(登録者へご案内させていただきます。学会連合HPよりお申し込み下さい。)

お問合せ:事務局 FAX: 03-3263-7761 E-mail: jimukyoku@nsigr.or.jp



## 講演内容

1. 発達障害等の発達特性を有する子どもの食の困難と発達支援 (田部絢子)
2. 摂食障害や偏食の子どもたちが楽しく食べるために (藤井葉子)
3. 子どもの摂食障害: 食べたいのに食べられない子への対応 (作田亮一)